

2024 年度 吉備国際大学

編入学（前期）試験問題

農学部 地域創成農学科

小論文（配当時間：60 分）

注）試験開始の合図があるまで開かないこと。

別紙解答用紙に記入すること。

【農学部 地域創成農学科】

気候変動と大気・海洋の諸要素の変化 温室効果ガスの増加とそれにより引き起こされる地球温暖化は、気温上昇のみならず、気候の諸要素に様々な変化をもたらします。平均気温の上昇に伴い、日本国内では、猛暑日といった極端に暑い日も増加し、さらに、気温の上昇に伴い、雨の降り方も変化します。気温が高いほど大気を含むことができる水蒸気の量（飽和水蒸気量）が増加するため、これに伴い、大雨や短時間強雨の頻度や強度が強まる傾向があります。このような状況下、どのように農業生産を行っていけば良いのか意見を述べてください。

—別紙にて 600 字以内で述べなさい。—

2024 年度 吉備国際大学

編入学（後期）試験問題

農学部 地域創成農学科

小論文（配当時間：60 分）

注）試験開始の合図があるまで開かないこと。

別紙解答用紙に記入すること。

【農学部 地域創成農学科】

以下の文章を読んで、日本の今後の野菜生産について自由に論じてください。

野菜の生産量は、高度経済成長期の 1960 年代から 1980 年代半ばにかけて、人口増加による需要の拡大や施設園芸の拡大を背景に増加しましたが、1980 年代後半から農業者の高齢化や労働力不足、漬物をはじめとする需要の減少などを理由に減少の道をたどりまし
た。野菜の自給率（重量ベース）は、昭和 40 年度には約 100%でしたが、近年は 80%程度で推移しています。

—別紙にて 600 字以内で述べてください。—